Game Changer
ビジネスを変える

ESG情報開示の草分け

クレアン会長
薗田 綾子氏

8月28日夜、JR飯田橋駅（東京都新宿区など）に近い外堀上空に花火が上がった。近くの店舗から外に出て花火を観覧する60人ほどの姿があった。

ESG（環境・社会・企業統治）関連のコンサルティングサービスを提供するクレアン（東京都港区）の創業35周年と、会長である薗田綾子さんの還暦祝いを兼ねたパーティーだ。上場企業の会長や社長、NPO関係者、九州地方の自治体職員の姿もあり、薗田さんの親交の広さがうかがえた。花火は有志からのプレゼントだった。

大阪から駆けつけた頼する方針だった。しかしある日の夕方、荒井さんは大阪・梅田のクレアン事務所を訪ね、断った。

当時は環境報告書の黎明（れいめい）期。薗田さんは「世界一の報告書にしようと話していたので『他に世界一の報告書を作れる会社があるのか』と荒井さんを押し返した」と懐かしむ。荒井さんも「上司を説得して来な

そのだ・あやこ　88年、25歳の時に大阪でクレアンを起業。創業35周年の23年8月、会長に就任。60歳。「動く禅」という言葉にひかれ7年前に始めた合気道は初段。

さいと言われた」と苦笑いする。結果的にクレアンが支援した環境報告書は、2000年度の環境庁長官賞に輝いた。

薗田さんは「パナソニックが報告書を出すことで、世の中が変わると確信していた」と述懐する。その予感が的中し、受賞が評判となって01年、17社の制作を担当。さらに依頼が殺到し、02年に東京へ進出した。その後、環境関連の情報開示が一般的となり、クレアンは統合報告書なども含め累計800冊の制作に携わった。

大手コンサルも参入したが、従業員40人の同社は35年の歳月を刻むことができた。薗田さんにはESGコンサルの草分けとして「ビジネスモデルを顧客と一緒に作ってきた」という自負がある。

パーティーの終盤、薗田さんは8月4日付で社長を退任したと報告した。どよめく会場で、亡き母への感謝を何度も口にした。最愛の母の存在が、ESG情報開示の礎を築いた起業家を支えた。

（次回に続く）

米ニューヨークの国連本部を訪れた薗田さん㊨。左はグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの有馬利男代表理事

無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社